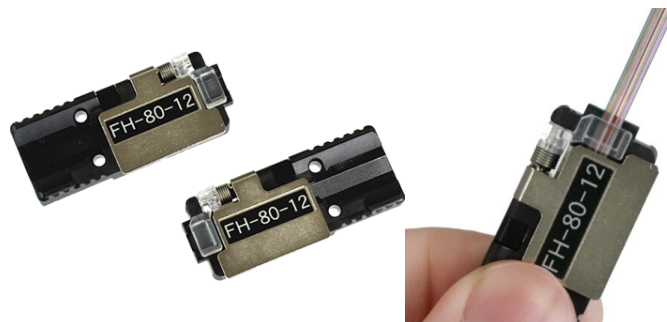


## 【その他の特長】

### 新型光ファイバホルダ「FH-80シリーズ」

先端に搭載したクランプ機構により、間欠固定型光ファイバリボン SWR<sup>®</sup>使用時のセット性が向上しています。



FH-80-12(12心用)

ファイバホルダおよびV溝は、従来機同様に光ファイバの心数と光ファイバ間隔に応じたラインナップがあり、施工者自身が融着接続する光ファイバに応じて交換可能です。



### スプライスコーチ機能

接続作業手順を説明する「スプライスコーチ機能」を搭載し、非熟練者でもスムーズな作業が可能です。



前処理の手順画面

※この画面は開発中のバージョンのものであり、製品版とは異なる場合があります。

## GPS機能

接続検査結果を接続位置情報とともに記録し、施工管理の効率とトレーサビリティを向上させます。これらの情報は、スマートフォンアプリ「Splice+」※1を使用することで、スマートフォンへのダウンロードが可能です。

## 従来機能も搭載

従来機に搭載されている、風防自動開閉機能、放電条件を自動制御する"ACTIVE FUSION CONTROL TECHNOLOGY"※2、光ファイバカッタの切断刃を無線で管理する"ACTIVE BLADE MANAGEMENT TECHNOLOGY"※3も搭載し、安定した低損失接続を実現します。

フジクラは、今後も先進的な製品を開発・提供することで、データセンタの構築や次世代通信インフラの整備に寄与し、デジタル社会の実現に貢献していきます。

※SWR<sup>®</sup>（Spider Web Ribbon<sup>®</sup>）は株式会社フジクラの登録商標です。

### ※1 スマートフォンアプリ「Splice+」

フジクラ製光ファイバ融着接続機の工具用ユーティリティアプリで、スマートフォンにインストールすると、融着接続データやファイバカッタの刃の使用回数を確認できるほか、工具の加熱温度の設定変更が可能になる無料アプリケーション。

### ※2 "ACTIVE FUSION CONTROL TECHNOLOGY"

光ファイバ融着接続前の切断端面状態や放電時の光ファイバ熱発光強度を分析し、リアルタイムで放電制御を行う機能。

### ※3 "ACTIVE BLADE MANAGEMENT TECHNOLOGY"

光ファイバ融着接続機が光ファイバカッタ切断刃の状態を監視し、切断刃の摩耗を検知すると無線通信で光ファイバカッタの切断刃を自動回転する機能。